

台風等による被害が頻発

昨年も大型台風等による被害が多発し、多くの支払となりましたが、今年度におきましても西日本を中心に深刻な台風被害や豪雨被害が発生しています。

今年度の台風被害の状況を紹介しますと、6月下旬の台風7号により、四国・九州地方で、かんばち・くろまぐろ養殖業を中心に被害が発生し、7月以降も通常ルートを逆走した台風12号や8月の台風20号、9月には25年振りに「非常に強い」勢力のまま日本に上陸した台風21号が襲来し、近畿地方を中心に、はまち・くろまぐろ養殖業や養殖施設、定置網漁業等に被害をもたらしました。

また、「西日本豪雨」では死者が200人を超える甚大な被害となり、漁業でも四国地方を中心に、たい養殖業などで被害がありました。

被害に遭われた方々に深く心よりお見舞い申しあげますとともに、共済団体としましても、早期の支払に努めて参りますが、残念なことに被害に遭われた方の中には共済未加入者や低い契約割合で加入されている方もおられたようです。

日本全国で異常災害が多発している今日において、漁業経営の安定化および災害対策への備えとして「ぎょさい」と「積立ぷらす」の更なる加入拡大を目指すと共に、より高い補償でご加入頂きますよう、引き続き皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年度の加入実績（8 月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	30 年度	29 年度	前年比	30 年度	29 年度	前年比
漁 獲 共 済	101,902	94,858	107%	5,093	4,341	117%
養 殖 共 済	176,962	171,157	103%	6,612	6,174	107%
特 定 養 殖 共 済	3,817	3,933	97%	174	175	99%
漁 業 施 設 共 済	9,391	9,505	99%			
地 域 共 済	5,624	5,319	106%			
合 計	297,695	284,771	105%	11,879	10,690	111%